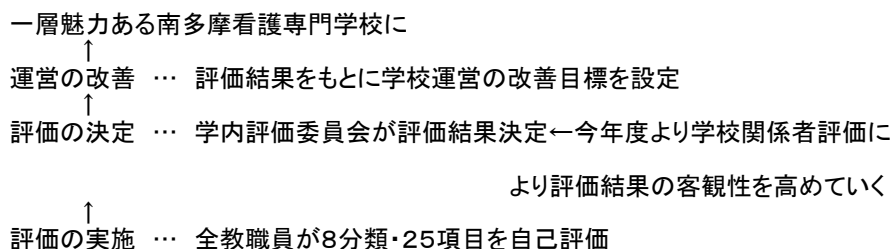


令和4年度 学校運営評価の状況

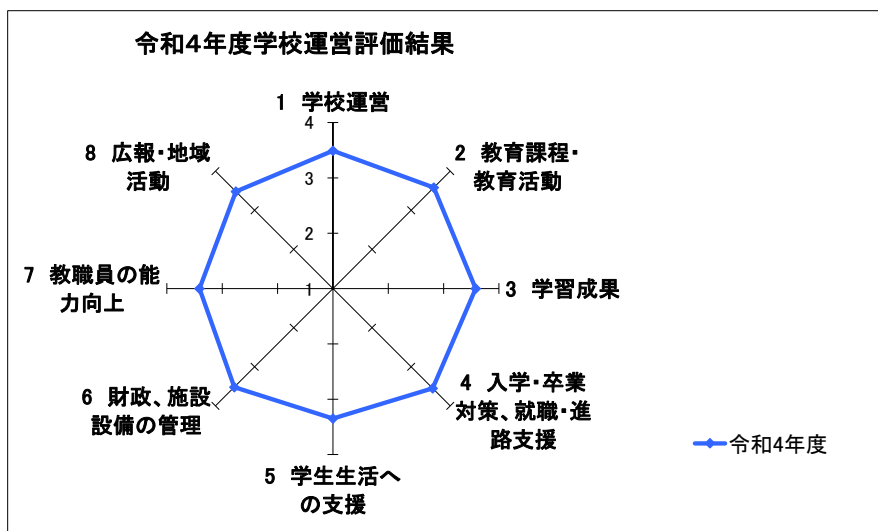
1 学校運営評価とは



【評価の尺度】

4点:十分に満たしている 3点:満たしている 2点:改善の余地がある 1点:改善が必要

区分	令和4年度
1 学校運営	3.49
2 教育課程・教育活動	3.58
3 学習成果	3.58
4 入学・卒業対策、就職・進路支援	3.55
5 学生生活への支援	3.35
6 財政、施設設備の管理	3.52
7 教職員の能力向上	3.41
8 広報・地域活動	3.48
平均	3.50



○今年度の学校運営最終評価の結果、8項目の平均評価は、3.41～3.58、全体平均3.50で「満たしている」の評価結果で、今年度中間及び昨年度の最終と比較して、全項目において高い評価結果であった。

8項目中、最も高かったのは、「Ⅱ教育課程・教育活動」「Ⅲ学習成果」は平均3.58であった。「Ⅱ教育課程・教育活動」については、中でも「4. 教育目標を明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか」が3.68で最も高く、卒業時の教育目標達成度調査などが評価されていると考える。また、「Ⅲ学習成果」については、昨年度と比較してプラス0.18ポイントと、最も向上した項目となった。中でも「10. 国家試験の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいるか」が3.64と最も高く、学習スタート時点でかなり低い成績であった集団を、国家試験担当を中心に最後まで粘り強く成績向上への学習支援ができたことで、必修問題を全員が8割以上の結果を得たことなどが評価されていると考える。

全項目平均は上がってはいるが、「Ⅴ学生生活への支援」が最も低く、3.35であった。中でも「16. 学生の自主的な活動を支援しているか」は3.0で最も低かった。「新入生歓迎会や学校祭で、自主的な活動の支援ができています」との意見もあるが、「コロナにより、サークル活動などできていない」「そろそろサークル活動の再検討の時期に来ていると考える」の意見を反映しての結果と言える。

年度当初から続くコロナ禍において、教職員全体の協力のもと、創意工夫を凝らし、教育目標達成に向けて全力で学校運営に当たることができた。この結果を受け止め、次年度は、新型コロナウイルスの新たなステージに向かい、感染防止対策を継続し、組織目標達成に向けて、全職員で学校運営に携わっていきけるよう努めていきたい。